

第 43 回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会富山県予選会 戦評

2012 年 11 月 11 日 (日)		会場：魚津テクノスポーツドーム																	
女子 試合No. 特 1		決 勝 戦																	
勝チーム 龍谷富山高校	8 8	<table border="1"> <tr><td>2 8</td><td>—</td><td>2 7</td></tr> <tr><td>2 5</td><td>—</td><td>1 0</td></tr> <tr><td>2 3</td><td>—</td><td>1 6</td></tr> <tr><td>1 2</td><td>—</td><td>2 4</td></tr> <tr><td>—</td><td></td><td>—</td></tr> </table>	2 8	—	2 7	2 5	—	1 0	2 3	—	1 6	1 2	—	2 4	—		—	7 7	負チーム 高岡第一高校
2 8	—	2 7																	
2 5	—	1 0																	
2 3	—	1 6																	
1 2	—	2 4																	
—		—																	
戦 評																			
<p>高一はオールコートマンツーマン、龍谷はマンツーマンでスタート。先制は龍谷、#5のドライブ、#6の3P。すぐに、高一は#10、#6の3Pを入れかえず。龍谷は、ジャンプシュートが良く決まり、着実に2点ずつ点数を重ねる。一方、高一はセンター#18を中心に攻めるが、シュートがリングに嫌われなかなか点数が取れない。12対18で龍谷リード。高一の#6が3Pを決めれば、龍谷の#6がジャンプシュートを決め、両チームのエースが仕事をしっかりこなす。高一がメンバーチェンジで#7を投入。果敢にリバウンドを取ったり、ドライブをしたりし、徐々に流れが高一に傾く。点数の取り合いから、ブザービーターで高一#12が3Pを決め、27対28 龍谷リードで1Qを終える。2Qに入っても、両チームの#6が点数を取り合う。しかし、龍谷#5、#10のドライブやターンシュートが決まり、龍谷ペースになる。高一の#7が速攻やリバウンドを頑張るが、龍谷#4のドライブ、#6の3Pなどが冴え渡り、点差は広がる一方。37対51 高一はタイムアウトを取り、立て直そうとするが、パスミスなどリズムが悪く、流れをつかめないまま、前半終了。37対53 龍谷リード。</p> <p>後半、龍谷が#4のドリブル突破から先制する。高一は#6の連続3P、#4のターンシュートで追撃し10点差に詰め寄る。ここで、龍谷#5が果敢にドライブをし、流れを引き戻す。龍谷#6の3Pが2本決まり、たまたま高一がタイムアウト。その後も、龍谷ペースで合わせやジャンプシュートから着実に2点を取っていく。高一は、#6の3Pが外れだし、なかなか点数が伸びないまま3Q終了。53対76 龍谷が23点差のリードをもち、4Qスタート。高一は2-3ゾーンディフェンスに変える。龍谷は勢いそのまま、#4が3Pやドライブから得点を決め、幸先のよいスタート。しかし、高一#7の3Pが決まり、#6、#9のドライブで連続得点。龍谷タイムアウト62対81 高一#18を戻し、リバウンドを強化する。高一に徐々に波が来る。両エース#6が点数を重ねるが、高一#12のカットからの速攻で流れをつかむ。残り5分、龍谷2回目のタイムアウト。71対86 龍谷のジャンプシュートが外れだし、そのまま速攻で高一が得点を重ねる。ここで、龍谷#4がアンスポにより、退場する。龍谷3回目のタイムアウト。73対86 その影響もあり、龍谷は、高一のプレスディフェンスを前に思うようにボールが運べない。高一は、ここで一気に流れをつかみたい所だが、内外角ともにシュートが決まらず、得点が伸びない。龍谷は焦りからか、シュートの早打ちが目立ち4分間ノーゴール。ラスト1分を切ったところで、龍谷#10が2点を決め、勝負を決める。高一も最後まで諦めずに、激しいディフェンスを行ったが、77対88でタイムアップ。</p>																			
記録者：大浅 忠雄		所 属：富山県高体連専門部																	
主 審：濱住 知明		副 審：河辺 真由美																	